

⑤： 16名(42.1%)

つまり、4割強が⑤8日以上、④5日～7日が1割強、②12時間～1日と③1日～4日がそれぞれ2割程度、①12時間以下が約5%である。

<民間病院 13> (隔離 66) (+拘束 17)

①： 4名(6.0%) 0名(0.0%)

②： 2名(3.0%) 4名(23.5%)

③： 18名(27.3%) 5名(29.4%)

④： 11名(16.7%) 1名(5.9%)

⑤： 31名(47.0%) 7名(41.2%)

民間病院は対象病院・対象患者ともにサンプル数が多いこともあり、平均の隔離室設置率・隔離処遇率・隔離処遇期間の分布・拘束処遇期間の分布は、全体平均とほぼ同一であり、民間病院の平均値が現状の精神科急性期医療の平均値を指しているかのように見える。しかし、民間病院ではすべての数値に大きなバラツキが存在していることを考慮すると、平均値を議論する意味はあまりないと言える。そこで、精神科急性期病棟における隔離処遇という治療行為に対して、隔離室という施設環境が十分備わっているのかを考える指標として下記の指標(Z)を設定し、病院ごとのバラツキを考えてみる。

$$\cdot Z = \text{隔離処遇率} \div \text{隔離室設置率}$$

(設置率または処遇率が0の病院は除外)

指標(Z)は数値が少ない方が処遇の機会に対して隔離室の数が多いことをになり、施設環境が優れていることを示している。民間病院における指標(Z)の平均値は5.3であり、全体平均の5.2同等である。病院間のバラツキについては、最も優れている2.4の病院(設置率15.4%、処遇率37.5%)から、最も劣っている9.6の病院(設置率6.7%、処遇率64.3%)まで大きな幅(9.6-2.4=7.2)が存在していることがわかる。また、隔離処遇患者の4分の1の患者に拘束処

遇が行われていた。

<国立病院 3> (隔離 7) (+拘束 0)

①： 0名(0.0%) 0名(0.0%)

②： 0名(0.0%) 0名(0.0%)

③： 2名(28.6%) 0名(0.0%)

④： 3名(42.8%) 0名(0.0%)

⑤： 2名(28.6%) 0名(0.0%)

国立病院では3病院と少なく、対照患者のサンプル数も7名と最も少なかった。平均の隔離室設置率は12.5%と全体の平均値にあり、隔離処遇率の50.0%は全体の平均値と同程度である。隔離処遇期間の分布では1週間以内の比率が7割以上あり、全体の平均より処遇期間が短いことがわかる。隔離+拘束の事例は無かった。対象病院は3病院だけではあるが隔離室数の充実度の指標(Z)を見てみると、平均値は5.3であり民間病院のそれと同一である。病院間のバラツキについては、最も優れている1.7の病院(設置率17.3%、処遇率28.6%)から、最も劣っている7.7の病院(設置率8.7%、処遇率66.7%)までと、民間病院ほどではないものの、やはり大きな病院間格差(7.7-1.7=6.0)が存在していると言える。

<大学病院 7> (隔離 18) (+拘束 14)

①： 0名(0.0%) 1名(7.1%)

②： 2名(11.1%) 1名(7.1%)

③： 0名(0.0%) 2名(14.3%)

④： 1名(5.6%) 2名(14.3%)

⑤： 15名(83.3%) 8名(57.1%)

大学病院の平均隔離室設置率が7.8%(全体平均の6割)、平均隔離処遇率が40.0%(全体平均の7割)とともに最も低く、本データからは隔離処遇に関する治療行為が求められない患者が多く、隔離室も少ないことがわかる。しかし、大学病院における精神科急性期医療の役割を考

慮すると、治療行為の側面から隔離処遇への要求が少ないことが原因で隔離室数が少ないと言うわけではなく、施設環境が治療行為を制限しているのではないかと考えるもできる。また、平均の隔離処遇期間の分布では1週間以上の比率が8割以上と平均よりもかなり高いことがわかる。拘束処遇は隔離処遇患者の8割弱で行われており、全体平均の35.2% (38/108) の2倍以上の比率である。拘束処遇期間についても1週間以上の比率が6割弱と全体平均の4割を上回っている。指標 (Z) の平均値は5.4であり、前出の民間病院や国立病院と同等である。6つの病院のうち最も優れている2.6の病院 (設置率8.7%、処遇率22.2%) から、最も劣っている8.5の病院 (設置率3.9%、処遇率33.3%) までの病院間格差 (8.5-2.6=5.9) からは、大学病院の隔離処遇に対する隔離室数の充実度のバラツキは、民間病院ほどは存在せず、国立病院と同等であると言える。

<公立病院 2> (隔離 17) (+拘束 7)	
①:	0名(0.0%) 1名(14.3%)
②:	2名(11.8%) 3名(42.8%)
③:	4名(23.5%) 1名(14.3%)
④:	6名(35.3%) 1名(14.3%)
⑤:	5名(29.4%) 1名(14.3%)

公立病院の対象病院サンプル数は2病院と最も少ない。平均隔離室設置率は26.3%と全体平均の2倍以上の比率であり最も高い。また、平均隔離処遇率についても81.0%と他の設立主体と比較してかなり高くなっているものの、全体平均の1.4倍程度である。つまり、他の設立主体と比較して、隔離処遇機会も多いが隔離室の数多く、隔離処遇の必要性に対して最も施設環境上優れていると考えられる。隔離処遇期間の分布では1週間以内の比率平均よりも高く、全体

の7割以上を占めていることがわかる。隔離処遇患に対しての拘束処遇が全体平均同等の4割で行われており、拘束処遇期間は全体平均よりも短く、1日程度である場合が多い。指標 (Z) の平均値は3.3と最も優れている。2.5の病院 (設置率32.5%、処遇率80.0%) 病院と、4.1の病院 (設置率20.0%、処遇率81.8%) の病院間格差 (4.1-2.5=1.6) についても、最も少ない。ともに今回の対象病院の中では最も隔離処遇率の最も高く、隔離処遇率も最も高いレベルにあることあることがわかる。

3. 病棟種別から見た隔離室設置率と隔離処遇の関係 (表-2、3、5 参照)

設立主体による分析に引き続き、病棟種別からの傾向を見てみる。

最初に、病棟種別の比較をする。平均の隔離室設置率と平均隔離処遇率を比較すると、

(設置率) (処遇率) 患者数

・救急	5:	20.7%	69.4%	n= 34
・急性期(1)	12:	11.7%	54.2%	n= 52
・その他	8:	9.7%	41.5%	n= 22

となり、隔離室の設置率では、全体の平均隔離室設置率 (12.4%) を精神科救急入院料病 (以降、救急病棟) 棟が大きく上回り、精神急性期治療病棟 (1) (以降、急性期病棟) は全体平均値同等、その他病棟は少ない整備率である。また、対象患者における隔離処遇率においても、全体の平均隔離処遇率 (54.5%) を救急病棟が約7割と大きく上回っており、隔離処遇に関する治療行為の多さと、施設環境の整備が連動していることがわかる。しかし、設立主体別の分析において見られた病院ごとのバラツキが、

(グラフ-2) から見て取れる。隔離室設置率の低い病院で、多くの隔離処遇を行っている場合が多く存在していることも、設立主体別の分析

と同様のことである。

そこで次に、病棟種別ごとの隔離処遇期間の分布を見てみる。

<救急病棟 3> (隔離 34) (+拘束 11)

①:	2名(5.9%)	0名(0.0%)
②:	1名(2.9%)	3名(27.3%)
③:	10名(29.4%)	5名(45.5%)
④:	9名(26.5%)	1名(9.1%)
⑤:	12名(35.3%)	2名(18.2%)

救急病棟では対象病院サンプル数は5病院と最も少ないが、対照患者のサンプル数は34名である。平均の隔離室設置率も平均の隔離処遇率も最も高く、隔離処遇期間の分布では1週間以内は約6割以上、1日以内が約1割と全体の平均より明らかに短く、救急病棟における処遇期間の特徴とすることができる。隔離処遇患者の3割弱で拘束処遇が行われており、拘束処遇期間は全体平均よりも短く、1日～4日程度である場合が全体の8割を占めている。隔離室数が足りているのかどうか指標(Z)を見てみると、平均値は3.5であり、全体平均値の5.1を下回っており、もっとも優れている。病院間のバラツキについては、最も優れている2.7の病院(設置率12.5%、処遇率33.3%)から、最も劣っている4.4の病院(設置率17.4%、処遇率76.5%)までと、病院間格差(4.4-2.7=1.7)も小さく、本データの救急病棟においては、隔離処遇に関する施設環境が、高い隔離処遇率の必要性に対して、十分高く設定されているとともに、病院間のバラツキも少ないことがわかる。

<急性期病棟 12> (隔離 52) (+拘束 13)

①:	1名(1.9%)	1名(7.7%)
②:	2名(3.8%)	4名(30.8%)
③:	13名(25.0%)	1名(7.7%)
④:	9名(17.3%)	1名(7.7%)

⑤: 27名(51.9%) 6名(46.2%)

急性期病棟は対象病院・対象患者ともにサンプル数が多いこともあり、平均の隔離室設置率・隔離処遇率・隔離処遇期間の分布は、全体平均とほぼ同一であるが、唯一拘束処遇期間の分布で1日以内の割合が4割弱と平均に比べて多くなっている。急性期病院の平均値が現状の精神科急性期医療の平均値を指しているものの、やはり病院間のバラツキの大きさが見て取れる。隔離処遇患者の3割弱で拘束処遇が行われている。急性期病棟の指標(Z)を見てみると、平均値は5.6であり、病棟種別では最も劣っている。病院間のバラツキについても、最も優れている2.4の病院(設置率15.4%、処遇率37.5%)から、最も劣っている9.6の病院(設置率6.7%、処遇率64.3%)までと、病院間格差(9.6-2.4=7.2)は3つの病棟種別のなかで最も大きく、民間病院の隔離処遇における施設環境の大きなバラツキを表している。前出の救急病棟と隔離処遇に関する施設環境の状況を比較すると、指標(Z)の対象病院の10病院の内、隔離室設置率が全体平均の12.4%以上ある4つの病院の平均隔離室設置率は19.9%と救急病棟と同等であると同時に、同じ4つの病棟の隔離処遇率の平均は64.4%であり、救急病棟の69.4%とやはり同じレベルであることから、急性期病棟の1つの特徴として、隔離処遇に関する施設環境が救急病棟同様である場合が挙げられる。また同様に、隔離処遇率が高い5つの病院の平均隔離処遇率は73.2%と救急病院のそれを上回っているのに対し、同じ5つの病院の平均隔離室設置率は14.9%であり救急病棟の20.7%を下回ることから、もう一つの特徴としては、隔離処遇の機会は救急病棟同様であるものの、十分な隔離室数が救急病棟と同程度には整備されていない場合があ

るという点も揚げるができる。

<その他病棟 8>	(隔離 22)	(+拘束 14)
①:	0名(0.0%)	1名(7.1%)
②:	2名(9.1%)	1名(7.1%)
③:	1名(4.5%)	2名(14.3%)
④:	3名(13.6%)	2名(14.3%)
⑤:	16名(72.7%)	8名(57.1%)

その他病棟では病棟種別としてみると、平均の隔離室設置率も平均の隔離処遇率も最も低い数値であるが極端に低いものではなく、急性期治療病棟を平均として、救急病棟がその上位に存在する分だけ数値が低くなっている状況である。隔離処遇期間の分布では1週間以上が約7割、5日以上が9割弱と全体の平均より明らかに長い。隔離処遇患者の6割以上で拘束処遇が行われており、拘束処遇期間は全体平均よりも長く、1週間以上が6割弱で最も多い。その他病棟の指標(Z)を見てみると、平均値は5.2であり、全体平均値と同等である。病院間のバラツキについては、最も優れている1.7の病院(設置率17.3%、処遇率28.6%)から、最も劣っている8.5の病院(設置率3.9%、処遇率33.3%)までと、病院間格差(8.5-1.7=6.8)についても急性期治療病棟と同等であることから、急性期治療病棟との違いは、隔離処遇に関する施設環境には大きな差がなく、むしろ隔離および拘束に関する処遇期間が長く、隔離処遇のあった患者に対しての拘束処遇の存在の割合が多いことにある。

3. 施設環境と薬剤処方量推移の関係

対象患者の薬剤処方量は、看護師か薬剤師が入院時・初回処方変更時・中間日・退院時の処方について回答した4時点における処方した薬剤量であり、対象患者については、対象患者全体(n=178)・処方量が1000mg以上患者(n=71、

各処方時点で1つでも1000mg以上の処方があった患者)・処方量が1000mg以下患者(n=107、各処方時点の処方がすべて1000mg未満の患者)の3つの視点から考察する。薬剤処方量は、その変化量を算出し、隔離室設置率の対象病院全体平均(12.4%)より数値の高い病院と低い病院を比較する。つまり、a入院時と退院時の差・b入院時と初回変更時の差・c初回変更時と中間時の差・d中間時と退院時の差を求め、処方量が増加した場合(+）・減少した場合(-)における隔離室設置率および個室率の数値が高い病院と低い病院が占める割合の比較である。同じく、個室率についても対象病院全体平均(15.3%)より数値の高い病院と低い病院を比較する。なお、全対象患者(n=198)から各処方段階における処方量の記載に欠損があった患者(n=20)を除いた患者(n=178)を、施設環境と薬剤処方量推移の関係を分析する際の全対象患者としている。隔離室設置率の影響度については、隔離処遇の機会が入院初期にあることを考慮して、a入院時と退院時の差・b入院時と初回変更時の差・c初回変更時と中間時の差をコメントし、個室率の影響度については、隔離室の使用時期よりも入院後期の影響があることを考慮して、a入院時と退院時の差・c初回変更時と中間時の差・d中間時と退院時の差をコメントする。

1. 全対象患者(n=178)の薬剤処方量推移に対する施設環境の影響度(表-8参照)

i. 隔離室設置率の影響度

<a入退院変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	47.7%	52.3%
-	66.7%	33.3%

入院時と退院時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占め

る割合は低く、減少している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は高いことから、対象患者全体で見て、隔離室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

ii. 個室率の影響度

<a 入退院変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	42.0%	58.0%
-	56.7%	43.3%

入院時と退院時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は高いことから、対象患者全体で見て、個室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

2. 処方量が 1000mg 以上患者 (n=71) の薬剤処方量に対する施設環境の影響度 (表-6、9 参照)

i. 隔離室設置率の影響度

<a 入退院変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	46.2%	53.8%
-	54.5%	45.5%

入院時と退院時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は高いことから、大量処方患者で見て、隔離室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

<b 初回変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	44.7%	55.3%
-	60.0%	40.0%

入院時と初回変更時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における

隔離室設置率の高い病院の占める割合は高いことから、大量処方患者の入院初期において、隔離室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

<c 中間時変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	41.7%	58.3%
-	52.6%	47.4%

初回変更時と中間時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は高いことから、大量処方患者の入院中期において、隔離室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

ii. 個室率の影響度

<a 入退院変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	46.2%	53.8%
-	54.5%	45.5%

入院時と退院時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は高いことから、大量処方患者で見て、個室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

<b 中間時変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	44.4%	55.6%
-	52.6%	42.1%

初回変更時と中間時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は高いことから、大量処方患者の入院中期において個室数が薬剤処方

量の推移に影響を与えていることが考えられる。

<c 退院時変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	48.1%	51.9%
-	68.0%	32.0%

中間時と退院時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は高いことから、大量処方患者の入院後期において、個室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

3. 処方量が1000mg未満患者 (n=107) の薬剤処方量に対する施設環境の影響度 (表-7、10参照)

i. 隔離室設置率の影響度

<a 入退院変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	42.9%	57.1%
-	63.2%	36.8%

入院時と退院時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は高いことから、少量処方患者で見て、隔離室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

<b 初回変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	42.9%	57.1%
-	63.2%	36.8%

入院時と初回変更時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は高いことから、少量処方患者の入院初期において、隔離室数が薬剤処方量の推移に影響を与えている

ことが考えられる。

<c 中間時変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	51.2%	48.8%
-	48.3%	51.7%

初回変更時と中間時の処方量変化で、増加している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は高く、減少している患者における隔離室設置率の高い病院の占める割合は低くなっているが、ともに患者数は1人でありほぼ同じ率である。よって、少量処方患者の入院中期において、隔離室数が薬剤処方量の推移に与えている影響は他の場合よりも低い。

ii. 個室率の影響度

<a 入退院変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	38.8%	61.2%
-	57.9%	42.1%

入院時と退院時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は低く、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は高いことから、少量処方患者で見て、個室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。

<b 中間時変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	51.2%	48.8%
-	48.3%	51.7%

初回変更時と中間時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は高く、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は低くなっているが、ともに患者数の差は1人でありほぼ同じ率である。よって、少量処方患者の入院中期において、隔離室数が薬剤処方量の推移に与えている影響

は他の場合よりも低い。

<c 退院時変更量>

変更量	高い病院	低い病院
+	42.9%	57.1%
-	47.7%	52.8%

中間時と退院時の処方量変化で、増加している患者における個室率の高い病院の占める割合は低いことから、少量処方患者の入院後期において、個室数が薬剤処方量の推移に影響を与えていることが考えられる。半面、減少している患者における個室率の高い病院の占める割合は低くなっているが、患者数の差は2人であり大きな差は存在していないともいえる。

E. 結論

本研究においては、対象病棟の隔離室の設置率と対象患者の隔離・拘束に関する処遇実態を分析することで、設立主体別に精神科急性期医療をおこなう病院の現況を明らかにするとともに、それらの病棟を設立主体別・病棟種別ごとに比較することができた。また、対象患者への薬剤処方量の推移データと隔離室や個室という病室に関する施設環境の充実度が、薬剤処方量の推移に影響を与えていることもあわせて明らかにすることができた。隔離室や個室が治療行為に応じて十分に設置されていることで、隔離処遇などに見られる集中的な治療や個室利用な

どによる優れた療養環境の提供が行われ、薬物療法への過度な依存を回避することができるという視点を示した。施設環境と薬剤処方量との関係について一定の傾向を明らかにすることが出来たが、本調査対象患者の直接的な隔離室や個室の利用についてはデータとして把握できていないために、あくまでも推論の域を出ない。今後各患者の物的な治療環境と薬剤処方量といったケアの内容との関係について研究を進める必要があるものとする。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
 - 1) 中山茂樹、笈淳夫、工藤真人：行動範囲・行動場所に着目した治療プロセスに関する研究—精神科急性期病棟における治療段階と施設環境に関する研究1—病院管理 41 (suppl.) : 226, 2004
 - 2) 工藤真人、笈淳夫、中山茂樹：行動範囲・治療プロセスという視点からみた施設環境のあり方に関する研究—精神科急性期病棟における治療段階と施設環境に関する研究2—病院管理 41 (suppl.) : 227, 2004

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定も含む)

なし

■表-1：対象病院(n=25)および対象患者(n=198)の概要

対象病院		対象患者			
設立主体別	新設種別	設置主体別	新設種別	隔離・拘束処置	薬剤処方
民間病院	救急入院科	民間病院	救急入院科	隔離のみ	1000mg未満
国立病院	急性期治療(1)	国立病院	急性期治療(1)	隔離+拘束	1000mg以上
大学病院	その他	大学病院	その他	拘束	チータ欠損
都道府県立病院		都道府県立病院		合計	合計
25	25	198	198	119	198
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

■表-2：平均の隔離室設置率・平均の隔離処置率・全体の隔離・拘束処置期間の分布

民間病院	隔離室設置率(対象患者:全体の分布)		隔離処置率(対象患者:全体の分布)		隔離・拘束期間(対象患者:全体の分布)	
	設立主体別の平均	新設種別の平均	設立主体別の平均	新設種別の平均	隔離処置期間(対象患者:全体の分布n=108)	拘束処置期間(対象患者:全体の分布n=38)
13	13.8%	5	68	55.9%	① 12時間以内	① 12時間以内
3	12.5%	12	7	50.0%	② 12時間~1日	② 12時間~1日
7	7.8%	8	18	40.0%	③ 1日~4日	③ 1日~4日
2	26.3%		21	81.0%	④ 5日~7日	④ 5日~7日
25	12.4%	25	108	54.5%	⑤ 8日以上	⑤ 8日以上
			全体平均	198	54.5%	49.1%

■表-3：設立主体および新設種別の隔離・拘束期間の分布 (①12時間以内 ②12時間~1日 ③1日~4日 ④5日~7日 ⑤8日以上)

民間病院	国立病院		大学病院		都道府県立病院		精神科救急入院科併設病院		精神科急性期治療併設病院(1)		その他の病院	
	隔離期間	拘束期間	隔離期間	拘束期間	隔離期間	拘束期間	隔離期間	拘束期間	隔離期間	拘束期間	隔離期間	拘束期間
① 4	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	1
	6.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	1.9%	7.7%	0.0%	7.1%
② 2	4	0	2	1	2	3	1	3	2	4	2	1
	3.0%	23.8%	0.0%	11.1%	7.1%	11.8%	42.8%	2.9%	27.3%	3.8%	30.8%	7.1%
③ 18	5	2	0	2	4	1	10	5	13	1	1	2
	27.3%	29.4%	0.0%	0.0%	14.3%	23.8%	14.3%	29.4%	45.8%	25.0%	7.7%	14.3%
④ 11	1	3	1	2	6	1	9	1	9	1	3	2
	16.7%	6.9%	42.8%	5.9%	14.3%	35.3%	14.3%	28.5%	9.1%	17.3%	13.8%	14.3%
⑤ 31	7	2	15	8	5	1	12	2	27	16	8	16
	47.0%	41.2%	28.6%	83.3%	57.1%	29.4%	14.3%	35.3%	18.2%	51.9%	72.7%	57.1%

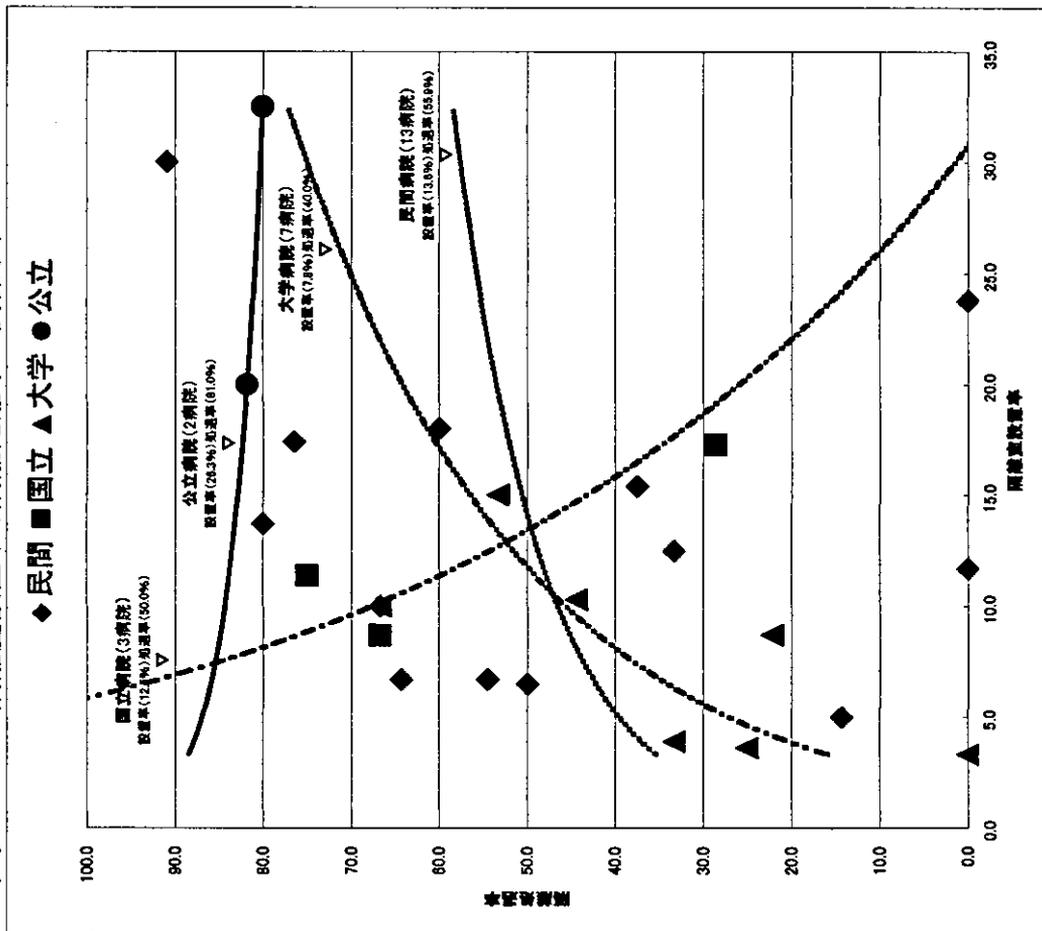
■表-4： 設置主体別の隔離空設置率・隔離処遇率・病棟における隔離空数の充実度指標(Z)の詳細 (Z = 隔離処遇率 ÷ 隔離空設置率)

病棟ID	設置主体	隔離空設置率	患者数	隔離処遇者	隔離処遇率	Z	設置平均	処遇平均	Z平均	Z差
1	55	1	6.7	14	9	64.3		9.6		
2	59	1	6.7	11	6	64.5		8.1		
3	29	1	6.5	6	3	50.0		7.7		
4	70	1	10.0	3	2	66.7		6.7		
6	43	1	13.7	10	8	80.0		5.8		
6	84	1	17.4	17	13	76.5		4.4		
7	41	1	18.0	15	9	60.0		3.3		
8	95	1	30.0	11	10	90.9		3.0		
9	8	1	5.0	7	1	14.3		2.9		
10	38	1	12.6	6	2	33.3		2.7		
11	27	1	15.4	8	3	37.5		2.4		
17	1	1	11.7	6	0	0.0				
20	1	1	23.8	4	0	0.0				
119	2	1	8.7	3	2	66.7	13.6	55.9	5.2	7.2
2	125	2	11.4	4	3	75.0		6.6		
3	124	2	17.3	7	2	28.6		1.7		
1	198	3	3.9	3	1	33.3		8.5		
2	171	3	3.6	4	1	25.0		6.9		
3	163	3	10.0	3	2	66.7		6.7		
4	164	3	10.3	9	4	44.4		4.3		
5	148	3	15.0	15	8	53.3		3.6		
6	170	3	8.7	9	2	22.2		2.6		
110	1	3	3.3	2	0	0.0				
114	4	1	20.0	11	9	81.8		4.1		
107	1	4	32.5	10	8	80.0		2.5		
合計			198	108		平均		81.0	3.3	1.6

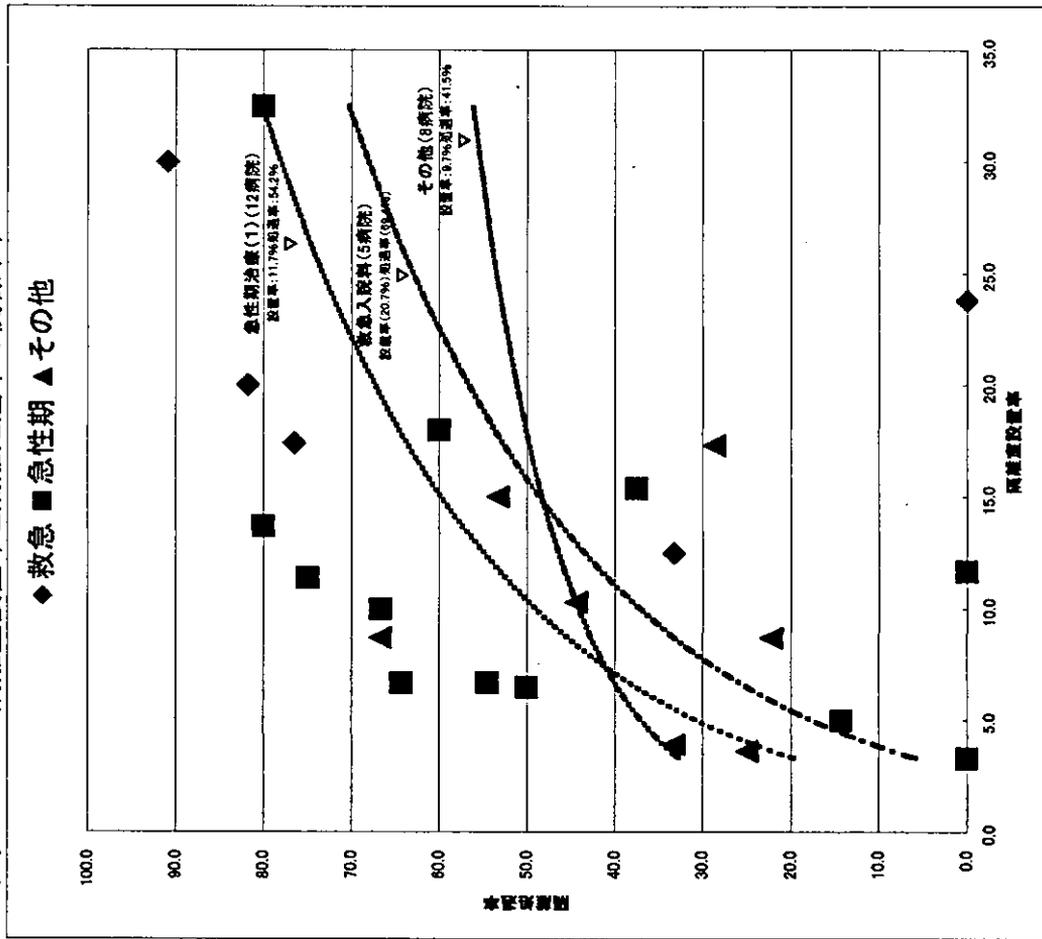
■表-5： 病棟種別の隔離空設置率・隔離処遇率・病棟における隔離空数の充実度指標(Z)の詳細 (Z = 隔離処遇率 ÷ 隔離空設置率)

病棟ID	病棟種別	隔離空設置率	患者数	隔離処遇者	隔離処遇率	Z	設置平均	処遇平均	Z平均	Z差
1	94	1	17.4	17	13	76.6		4.4		
2	114	1	20.0	11	9	81.8		4.1		
3	95	1	30.0	11	10	90.9		3.0		
4	38	1	12.6	6	2	33.3		2.7		
20	1	1	23.8	4	0	0.0				
1	55	2	6.7	14	9	64.3	20.7	69.4	3.5	1.7
2	59	2	6.7	11	6	54.5		8.1		
3	29	2	6.5	6	3	50.0		7.7		
4	70	2	10.0	3	2	66.7		6.7		
5	125	2	11.4	4	3	75.0		6.8		
6	43	2	13.7	10	8	80.0		5.8		
7	41	2	18.0	15	9	60.0		3.3		
8	8	2	5.0	7	1	14.3		2.9		
9	107	2	32.5	10	8	80.0		2.5		
10	27	2	15.4	8	3	37.5		2.4		
17	1	2	11.7	6	0	0.0				
110	1	2	3.3	2	0	0.0				
198	3	3	3.9	3	1	33.3		8.5		
2	119	3	8.7	3	2	66.7	11.7	64.2	5.6	7.2
3	171	3	3.6	4	1	25.0		6.9		
4	163	3	10.0	3	2	66.7		6.7		
5	164	3	10.3	9	4	44.4		4.3		
6	148	3	15.0	15	8	53.3		3.6		
7	170	3	8.7	9	2	22.2		2.6		
8	124	3	17.3	7	2	28.6		1.7		
合計			198	108		平均		41.5	5.2	6.9

■ グラフ-1 : 隔離室設置率と隔離処遇率の関係(1)



■ グラフ-2 : 隔離室設置率と隔離処遇率の関係(2)



■表-6 : 処方量1000mg以上の患者の詳細情報(n=71)

病院id	設立主体 1民間 2国立 3大学 4公立	病種分類 1急性期 2救急 3その他	施設環境(病室)		患者id	隔離処遇		拘束処遇		処方量(cpz換算量:mg)			
			隔離室設置率(%)	個室率(%)		隔離	隔離期間	身体拘束	拘束期間	入院時	初回変更時	中間時	退院時
8	1	2	5.0	3.3	4	2	5	1		2,734.09	2,284.09	2,059.09	2,134.09
					14	1		1		875.00	1,151.52	1,603.03	1,653.03
17	1	2	11.7	21.7	2	1		1		1,059.09	909.09	1,059.09	1,209.09
					3	1		1		1,200.00	1,225.00	800.00	800.00
20	1	1	23.8	26.2	2	1		1		1,050.00	650.00	800.00	800.00
27	1	2	15.4	23.1	5	1		2	5	400.00	100.00	3,100.00	3,100.00
					6	1		1		4,250.00	0.00	4,250.00	4,250.00
					9	1		2	4	825.00	2,050.00	200.00	400.00
					10	2	5	1		868.64	868.64	1,090.91	1,090.91
					2	1		1		1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
28	1	2	6.5	12.9	3	2	5	1		365.00	340.00	1,240.00	1,650.00
					8	1		1		1,700.00	1,700.00	1,700.00	1,700.00
					10	2	5	1		1,396.06	727.27	776.52	700.76
					36	1	1	2	5	2	5	423.64	1,200.00
41	1	2	18.0	6.0	1	2	5	2	2	800.00	1,625.00	1,250.00	612.50
					3	2	5	1		850.00	900.00	1,300.00	800.00
					6	1		1		1,152.27	1,152.27	1,152.27	1,152.27
					7	2	5	1		462.50	400.00	1,227.27	703.03
					9	2	5	1		965.15	1,333.33	737.88	2,677.27
					10	2	4	1		737.50	975.00	975.00	1,000.00
					13	1		1		2,039.55	1,131.82	928.03	700.00
					15	1		1		1,425.00	1,425.00	1,425.00	1,425.00
					16	1		1		850.00	700.00	837.50	1,150.00
					23	2	5	1		700.00	1,075.00	1,800.00	1,000.00
43	1	2	13.7	3.9	17	2	3	1		1,200.00	1,200.00	1,212.50	1,200.00
					20	2	3	2	2	1,100.00	1,150.00	827.27	600.00
					30	2	5	2	5	713.64	751.52	1,000.00	252.27
55	1	2	6.7	33.3	4	2	5	2	5	2,130.30	1,980.30	1,050.00	1,200.00
					5	2	4	1		302.50	600.00	1,203.03	1,654.55
					7	1		1		1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
					10	2	3	1		1,378.79	1,378.79	1,378.79	1,378.79
					11	1		1		1,050.00	1,066.67	1,066.67	1,066.67
					15	2	5	1		1,000.00	0.00	300.00	600.00
					1	1		1		1,265.91	1,265.91	1,265.91	1,265.91
70	1	2	10.0	0.0	2	2	5	1		2,000.00	150.00	612.50	764.02
					5	2	4	1		710.00	610.00	1,243.33	760.00
94	1	1	17.4	34.8	9	1		1		600.00	900.00	900.00	1,100.00
					15	2		1		1,450.00	1,601.52	1,504.55	1,804.55
					19	2	3	1		2,100.00	1,205.00	1,205.00	1,005.00
					20	2	5	1		175.00	325.00	1,125.00	575.00
					21	2	4	1		1,000.00	1,225.76	753.03	1,931.82
					1	2		1		2,600.00	2,350.00	1,350.00	1,350.00
95	1	1	30.0	20.0	8	2	5	1		1,800.00	1,800.00	1,200.00	900.00
					9	2	5	1		750.00	1,000.00	727.27	1,060.61
107	4	2	32.5	2.5	1	2	4	1		1,400.00	1,325.00	1,325.00	1,325.00
					3	2		1		625.00	940.00	940.00	1,637.50
					4	2	4	2	2	804.17	900.00	1,000.00	600.00
					6	1		1		1,488.64	1,488.64	1,488.64	1,488.64
					13	2	5	1		912.50	1,225.00	1,225.00	1,462.50
					16	2	5	1		625.00	450.00	987.50	1,587.50
					18	2	5	1		800.00	1,225.00	1,250.00	1,225.00
110	3	2	3.3	0.0	5	1		1		1,100.00	1,150.00	1,612.50	1,475.00
114	4	1	20.0	32.0	7	2	2	2	2	366.67	850.00	1,810.00	1,205.00
					8	2	4	1		1,375.00	925.00	975.00	975.00
					11	2	5	2	2	850.00	1,050.00	650.00	425.00
124	2	3	5.8	17.3	2	1		1		1,175.00	1,375.00	750.00	1,606.06
125	2	2	11.4	45.7	2	2	4	1		1,101.52	1,177.27	1,177.27	1,177.27
148	3	3	15.0	5.0	4	2	5	2	5	303.03	303.03	2,944.23	3,044.23
					8	1		1		975.00	1,875.00	975.00	1,075.00
					9	1		1		1,135.61	1,135.61	1,135.61	1,135.61
					12	1		1		1,025.00	825.00	1,475.00	1,675.00
					13	2	5	2	5	825.00	1,225.00	892.31	400.00
163	3	3	10.0	40.0	2	2	5	4		651.52	1,003.03	1,154.55	1,306.06
164	3	3	10.3	7.4	15	1		1		1,279.55	1,734.09	1,934.09	1,734.09
170	3	3	8.7	4.3	5	2	5	2	5	125.00	600.00	2,600.00	600.00
					4	1		1		1,060.61	1,210.61	1,560.61	1,257.58
					6	2	5	2	4	150.00	250.00	1,250.00	1,200.00
171	3	3	3.6	0.0	4	1		1		315.53	482.05	1,252.50	1,090.00
					8	2	5	1		1,225.00	1,815.91	1,100.00	1,404.55
					9	1		1		200.00	400.00	1,752.27	1,587.88
198	3	3	3.9	5.9	3	1		1		100.00	200.00	600.00	1,000.00

■表-7：処方量1000mg未満の患者の詳細情報(n=107)

病院id	設立主体 1民間 2国立 3大学 4公立	病棟分類 1急性期 2慢性 3その他	処方率(割合)		患者id	入院経過		処方経過		処方量(copd換算量:mg)			
			処方率 (%)	処方率 (%)		開始	開始期間	身体拘束	拘束期間	入院時	初回変更時	中間時	退院時
			1:なし 2:あり	1:12時間以内 2:12時間~1日 3:1日~4日 4:4日~7日 5:8日以上		1:なし 2:あり	1:12時間以内 2:12時間~1日 3:1日~4日 4:4日~7日 5:8日以上						
8	1	2	5.0	3.3	2	1			700.00	800.00	800.00	800.00	
					13	1			480.15	328.64	328.64	669.55	
					1	1			688.84	537.88	530.00	725.00	
					5	1			225.00	5.00	110.00	110.00	
					10	1			200.00	200.00	250.00	200.00	
20	1	1	23.8	26.2	1	1			454.55	303.03	666.67	303.03	
					7	2	4	1	113.84	113.84	400.00	400.00	
					8	2	4	2	150.00	450.00	150.00	300.00	
					12	1		1	700.00	900.00	610.00	610.00	
					15	2	4	2	780.00	940.00	940.00	940.00	
27	1	2	15.4	23.1	2	1			325.00	225.00	225.00	225.00	
					3	1			200.00	300.00	825.00	825.00	
					4	1			400.00	400.00	300.00	300.00	
					12	2	5	1	364.02	500.00	525.00	500.00	
					14	1		1	800.00	400.00	300.00	300.00	
28	1	2	6.5	12.9	2	1			200.00	300.00	825.00	825.00	
					3	1			400.00	400.00	300.00	300.00	
					4	1			400.00	400.00	300.00	300.00	
					12	2	5	1	364.02	500.00	525.00	500.00	
					14	1		1	800.00	400.00	300.00	300.00	
36	1	1	12.8	21.3	2	1			200.00	300.00	825.00	825.00	
					3	1			400.00	400.00	300.00	300.00	
					4	1			400.00	400.00	300.00	300.00	
					12	2	5	1	364.02	500.00	525.00	500.00	
					14	1		1	800.00	400.00	300.00	300.00	
41	1	2	18.0	6.0	2	2	3	1	312.50	612.50	827.27	800.00	
					24	2	3	1	128.14	131.14	277.85	277.27	
					7	2	5	2	400.00	300.00	300.00	300.00	
					8	2	5	1	805.00	805.00	805.00	805.00	
					18	1		1	328.03	328.03	328.03	353.03	
43	1	2	13.7	3.9	19	1			25.00	800.00	800.00	800.00	
					21	2	5	2	200.00	200.00	400.00	200.00	
					25	2	3	2	400.00	400.00	400.00	400.00	
					32	2	5	2	800.00	878.78	878.78	804.55	
					1	1		1	113.84	113.84	113.84	113.84	
44	1	2	8.7	33.3	3	1			200.00	200.00	200.00	365.00	
					6	2	5	1	656.06	757.58	725.00	603.03	
					9	2	1	2	0.00	0.00	0.00	0.00	
					12	2	2	1	494.55	544.55	544.55	468.79	
					13	2	3	1	262.88	212.88	75.78	125.00	
55	1	2	6.7	33.3	20	1			888.89	888.89	888.89	888.89	
					22	2	5	1	176.52	151.52	400.00	800.00	
					1	2	1	1	625.00	550.00	500.00	500.00	
					2	2	1	1	189.39	827.27	951.52	800.00	
					3	1		1	50.00	300.00	200.00	200.00	
59	1	2	8.7	1.7	4	2	3	1	400.00	600.00	750.00	675.00	
					5	2	3	1	37.88	113.84	113.84	454.55	
					6	2	3	1	800.00	713.84	600.00	600.00	
					9	1		1	200.00	400.00	300.00	300.00	
					11	1		1	150.00	150.00	150.00	150.00	
70	1	2	10.0	6.0	12	2	2	1	450.00	650.00	800.00	800.00	
					4	2	5	1	300.00	350.00	783.33	12.50	
					1	2	3	1	425.00	500.00	450.78	800.78	
					4	2	5	2	725.00	675.00	605.00	800.00	
					6	2	4	1	650.00	650.00	650.00	650.00	
84	1	1	17.4	34.8	7	1			613.84	338.84	783.84	983.84	
					8	2	5	2	400.00	800.00	875.00	475.00	
					10	1		1	125.00	125.00	125.00	125.00	
					14	2	3	2	400.00	550.00	800.00	700.00	
					16	2	4	1	450.00	310.00	950.00	950.00	
94	1	1	17.4	34.8	17	2	5	1	800.00	900.00	700.00	500.00	
					18	2	5	2	400.00	700.00	965.00	415.00	
					2	2	3	1	600.00	100.00	100.00	100.00	
					3	2	1	1	800.00	600.00	600.00	400.00	
					4	2	3	1	500.00	350.00	750.00	750.00	
95	1	1	30.0	20.0	5	2	3	1	550.00	325.00	500.00	175.00	
					6	2	1	1	350.00	350.00	350.00	350.00	
					7	2	4	1	400.00	200.00	200.00	200.00	
					10	2	5	1	25.00	25.00	25.00	25.00	
					5	2	3	1	175.00	150.00	150.00	150.00	
107	4	2	32.5	2.5	7	2	2	2	630.00	640.00	640.00	640.00	
					10	2	4	1	625.00	625.00	625.00	625.00	
					6	1		1	200.00	175.78	150.00	300.00	
					2	2	1	1	625.00	425.00	325.00	225.00	
					3	2	4	1	625.00	510.00	525.00	400.00	
110	3	2	3.3	6.0	9	2	5	2	113.84	113.84	118.84	118.84	
					10	2	3	1	550.00	550.00	550.00	600.00	
					18	2	4	2	525.00	500.00	500.00	400.00	
					20	2	3	1	400.00	400.00	600.00	400.00	
					24	1		1	925.00	925.00	600.00	600.00	
114	4	1	20.0	32.0	1	1			0.00	400.00	650.00	725.00	
					3	2	3	1	400.00	400.00	400.00	400.00	
					4	2	4	1	400.00	151.52	25.00	225.00	
					1	2	4	1	325.00	150.00	151.52	151.52	
					4	1		3	350.00	350.00	113.84	113.84	
119	2	3	8.7	4.3	6	2	5	1	800.00	200.00	303.03	303.03	
					8	1		1	151.52	113.84	100.00	60.00	
					6	2	3	1	470.00	480.00	470.00	480.00	
					7	1		1	227.27	227.27	227.27	227.27	
					2	2	5	2	227.27	340.91	200.00	200.00	
124	2	3	5.8	17.3	3	1			500.00	600.00	550.00	450.00	
					5	2	4	2	750.00	600.00	600.00	0.00	
					6	2	2	2	800.00	800.00	800.00	800.00	
					7	1		1	450.00	675.00	625.00	400.00	
					11	1		1	475.00	475.00	475.00	475.00	
125	2	2	11.4	45.7	14	2	5	2	600.00	200.00	200.00	200.00	
					16	2	5	2	150.00	750.00	800.00	850.00	
					17	2	5	2	925.00	905.00	675.00	400.00	
					18	2	2	1	925.00	925.00	925.00	925.00	
					9	2	5	1	50.00	775.00	975.00	930.00	
148	3	3	18.0	8.0	3	1			301.52	188.84	427.27	513.84	
					6	1			909.09	909.09	681.06	150.00	
					7	1			200.00	50.00	0.00	200.00	
					8	1			25.00	125.00	300.00	100.00	
					9	2	2	2	182.50	475.00	340.91	340.91	
163	3	3	10.0	40.0	10	2	5	2	400.00	400.00	400.00	0.00	
					11	2	5	1	400.00	600.00	600.00	600.00	
					12	1		2	800.00	550.00	300.00	300.00	
					2	1		1	405.00	605.00	605.00	605.00	
					5	1		1	500.00	500.00	700.00	600.00	
164	3	3	10.3	7.4	9	1			0.00	0.00	200.00	200.00	
					13	1			0.00	200.00	600.00	900.00	
					15	1			129.00	154.00	154.00	416.67	
					16	2	5	2	170.00	189.39	475.78	606.06	
					7	1			60.00	250.00	350.00	300.00	
171	3	3	3.8	0.0	2	1			400.00	300.00	600.00	600.00	
					2	2	5	2	303.03	353.03	783.84	0.00	

■ 表-8 : 全対象患者(n=178)の薬剤処方量推移に対する施設環境の影響度

a. 入退院変更量 (変化なし=30)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	42 47.7%	46 52.3%	37 42.0%	51 58.0%
-	40 66.7%	20 33.3%	34 56.7%	26 43.3%

※隔離室設置率の全体平均値=12.4%

※個室率の全体平均値=15.3%

■ 表-9 : 処方量が1000mg以上患者(n=71)の薬剤処方量推移に対する施設環境の影響度

a. 入退院変更量 (変化なし=10)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	18 46.2%	21 53.8%	18 46.2%	21 53.8%
-	12 54.5%	10 45.5%	12 54.5%	10 45.5%

b. 初回変更量 (変化なし=13)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	17 44.7%	21 55.3%	16 42.1%	22 57.9%
-	12 60.0%	8 40.0%	12 60.0%	8 40.0%

c. 中間時変更量 (変化なし=16)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	15 41.7%	21 58.3%	16 44.4%	20 55.6%
-	10 52.6%	9 47.4%	11 52.6%	8 42.1%

d. 退院時変更量 (変化なし=18)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	11 40.7%	16 59.3%	13 48.1%	14 51.9%
-	13 50.0%	13 50.0%	8 68.0%	17 32.0%

※隔離室設置率の全体平均値=12.4%

※個室率の全体平均値=15.3%

■ 表-10 : 処方量が1000mg未満患者(n=107)の薬剤処方量推移に対する施設環境の影響度

a. 入退院変更量 (変化なし=20)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	21 42.9%	28 57.1%	19 38.8%	30 61.2%
-	24 63.2%	14 36.8%	22 57.9%	16 42.1%

b. 初回変更量 (変化なし=32)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	18 42.9%	24 57.1%	13 31.0%	29 69.0%
-	20 60.6%	13 39.4%	19 57.6%	14 42.4%

c. 中間時変更量 (変化なし=37)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	21 51.2%	20 48.8%	21 51.2%	20 48.8%
-	14 48.3%	15 51.7%	14 48.3%	15 51.7%

d. 退院時変更量 (変化なし=50)	隔離室設置率の影響度		個室率の影響度	
	高い	低い	高い	低い
+	7 33.3%	14 66.7%	9 42.9%	12 57.1%
-	22 61.1%	14 38.9%	17 47.2%	19 52.8%

※隔離室設置率の全体平均値=12.4%

※個室率の全体平均値=15.3%

Ⅲ. 調査票

調査協力依頼文 1

精神科急性期治療病棟・精神科救急入院料病棟を有する病院

精神科急性期治療病棟・精神科救急入院料病棟を有する病院 院長殿
調査御担当者殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、お忙しいところを厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班の臨床パス調査にご協力戴きましたことを、深くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、研究班では今後薬剤処方の実態調査を実施致します。多くの施設より協力を検討してもよいとのご回答を戴いております。各協力施設の皆様のご負担にならぬよう細心の注意を払う所存でございます。

調査説明書及び調査票案（実際の調査までに若干改訂する予定です）を見本として同封させていただきましたので、ご一読いただき、最終的にご協力いただけるかのご検討をよろしくお願い申し上げます。最終的にご協力いただける施設数にもよりますが、調査期間は2ヶ月程度（1～3ヶ月）、1施設あたりの対象患者数は20～30名を見込んでいます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、再度、同封のFAX票にて最終的にご協力いただけるかどうかを10月8日（水）までにご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

2003年9月29日

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香・中西三春
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

調査協力依頼文 1

国立療養所

精神科政策医療ネットワーク 国立療養所 所長殿
調査御担当者殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、お忙しいところを厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班の臨床パス調査にご協力戴きましたことを、深くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、研究班では今後薬剤処方の実態調査を実施致します。多くの施設より協力を検討してもよいとのご回答を戴いております。各協力施設の皆様のご負担にならぬよう細心の注意を払う所存でございます。

調査説明書及び調査票案（実際の調査までに若干改訂する予定です）を見本として同封させていただきましたので、ご一読いただき、最終的にご協力いただけるかのご検討をよろしくお願い申し上げます。最終的にご協力いただける施設数にもよりますが、調査期間は2ヶ月程度（1～3ヶ月）、1施設あたりの対象患者数は20～30名を見込んでいます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、再度、同封のFAX票にて最終的にご協力いただけるかどうかを10月8日（水）までにご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

2003年9月29日

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香・中西三春
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

調査協力依頼文 1

大学病院

精神科病棟を有する大学病院精神科 科長 殿
調査御担当者殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、お忙しいところを厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班のクリニカルパス調査にご協力戴きましたことを、深くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、研究班では今後薬剤処方の実態調査を実施致します。多くの施設より協力を検討してもよいとのご回答を戴いております。各協力施設の皆様のご負担にならぬよう細心の注意を払う所存でございます。

調査説明書及び調査票案（実際の調査までに若干改訂する予定です）を見本として同封させていただきましたので、ご一読いただき、最終的にご協力いただけるかのご検討をよろしくお願い申し上げます。最終的にご協力いただける施設数にもよりますが、調査期間は2ヶ月程度（1～3ヶ月）、1施設あたりの対象患者数は20～30名を見込んでいます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、再度、同封のFAX票にて最終的にご協力いただけるかどうかを10月8日（水）までにご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

2003年9月29日

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香・中西三春
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

調査協力依頼文 2

調査御担当者殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、お忙しいところを厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班の調査にご協力戴きましたことを、深くお礼申し上げます。

さて、ご承知のとおり、研究班では薬剤処方の実態調査を実施致します。多くの施設より協力を検討してもよいとのご回答を戴き、また調査票案をご検討いただいたうえで実際の調査にご協力いただけるとの回答をいただいております。各協力施設の皆様のご負担にならぬよう細心の注意を払う所存でございます。

調査説明書及び調査票を同封させていただきましたので、ご一読いただき、最終的にご協力いただけるかのご検討をよろしくお願い申し上げます。調査期間は7週間、1施設あたりの対象患者数は20～30名を見込んでいます。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、再度、同封のFAX票にて最終的にご協力いただけるかどうかを10月31日（金）までにご連絡いただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

2003年10月20日

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香・中西三春
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

調査協力依頼文3

ご担当者様

国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

先月末、厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班の薬剤調査研究への最終的なご協力の意思を確認するために、調査票見本と返信用FAX票をお送りさせていただきました。本状はまだ事務局でFAX票を拝受していない施設に対して、お送りしております。

調査票印刷等の準備の関係上、この用紙にて協力の可否についてご連絡いただきますようお願い申し上げます。

ご多忙の折、申し訳ございませんが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、本票と入れ違いで回答いただいた施設につきましても、恐れ入りますが本票をご返信いただきたく、お願い申し上げます。

敬具

調査事務局：

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6

国立保健医療科学院 経営科学部

伊藤弘人・小山明日香・中西三春

TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711

< FAX票 > 048-451-7711 伊藤宛

■ 薬剤調査について

1. 協力可	2. 協力不可
--------	---------

■ 貴院の名称を御記入ください。

病院名	
-----	--

調査票郵送時依頼文

調査担当者 殿

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、ご多忙中にもかかわらず、厚生労働科学研究「精神科急性期病棟・リハビリテーション病棟等の在り方に関する研究」研究班の薬剤調査にご協力戴きますことを、厚くお礼申し上げます。

調査票一式を郵送させていただきます。今回お送りした調査票で調査を開始していただきたく、お願い申し上げます。

また、ご不明な点などございましたら、ご遠慮なく事務局へご連絡ください。

貴院の益々のご発展をお祈り致します。

敬具

2003年10月20日

〒272-8516 千葉県市川市国府台1-7-1
国立精神・神経センター 国府台病院
院長 樋口輝彦

調査事務局：

〒351-0197 埼玉県和光市南2-3-6
国立保健医療科学院 経営科学部
伊藤弘人・小山明日香・中西三春
TEL: 048-458-6139 FAX: 048-451-7711